

※このメールは、東京都産業教育振興会の会員の皆様に対し、一斉に送付しています。



東京の産業と教育（電子版）

第 50 号 令和 6 年 1 月 29 日



この会報電子版は会員が発信している情報の共有・提供に努め、専門高校を中心とした産業教育の魅力を発信することを目的としています。

今号は総合学科高校の情報発信を中心に紹介します。総合学科高校の学びは学校ごとに特色があります。ホームページで発信された情報から特色ある 3 校の学びを紹介します。次号は 2 月 26 日（月）に発行します。

☆今号のコンテンツ—————☆

【1】総合学科高校の「系列」の学びを紹介します

【2】総合学科高校の「地域連携」による学びを紹介します

【3】総合学科高校の「進路」や「地域」につがる学びを紹介します

【4】東京都産業教育振興会長賞を紹介します

【5】「＃だから都立高」の卒業生インタビューを紹介します

【6】高校生が作った門松が届けられました

【7】都産振情報について

【8】情報の募集について



【1】総合学科高校の「系列」の学びを紹介します —————☆

都立晴海総合高校HPでは1月9日の「お知らせ」で「国際ビジネス系列」を学ぶ3年次生が、ビジネスコンテストの最終プレゼンテーション審査会に参加したと伝えています。文部科学省の事業の一環として首都圏を中心とした大学等から構成する『世界を変える大学発スタートアップを育てる』プラットフォーム「GTIE (Greater Tokyo Innovation Ecosystem)」主催の高校生対象のビジネスコンテスト、「高校生がやってみた！アントレプレナーシッププログラム成果報告会」の最終選考対象者 20 組に選ばれて参加したと伝えています。

また、12月26日の「お知らせ」では「国際ビジネス系列」の「ビジネス基礎」の授業で取り組んだ「第23回 日経エデュケーションチャレンジ for SDGs（主催：日本経済新聞社）」の課題レポートコンテストで、2年次生が優秀レポートに選ばれましたと紹介されています。このレポートが掲載されているサイトも紹介されていますので、こちらも是非ご覧ください。

[都立晴海総合高校のHPはこちらから](#)

【2】総合学科高校の「地域連携」による学びを紹介します —————☆

都立青梅総合高校HPでは12月18日の「お知らせ」で「第11回東京都立総合学科高等学校成果発表会」代表生徒2名のテーマを紹介しています。「地域探究“青梅のためにできること”」「卒業研究”ウメエ梅で青梅の梅を

救う”」の2つ。地域連携を生かして学びを深めている学校の様子はHP内リンクによる「産業社会と人間&総合的な探究の時間取組」も紹介されています。地域連携は3年間を通して計画的に実践されています。是非ご覧ください。

[都立青梅総合高校のHPはこちらから](#)

【3】総合学科高校の「進路」や「地域」につがる学びを紹介します ――☆

都立町田総合高校HPでは12月22日の「町総ライフ」で「12期生課題研究発表会」「IBL Day 代表班による年次発表会」の2つの校内発表会を紹介しています。いずれも自分の進路に関わるテーマや近隣の8大学との連携による探究がテーマとなっています。

一方、1月9日の「町総ライフ」では1年次3学期は「産業社会と人間」の学習で地域の様々な団体の協力を得て町田市地域探究を実施し、高校生が地域のためにできることをテーマごとに地域の方に提案し、来年度の夏休みに生徒自身が提案した活動を行う予定との情報を発信しています。

どちらの学びも是非ご覧ください。

[都立町田総合高校HPはこちらから](#)

【4】東京都産業教育振興会長賞を紹介します ――――☆

東京都高等学校工業科生徒研究成果発表大会で、口頭発表部門・東京都産業教育振興会賞を受賞した解説画面を紹介します。

今年度の東京都産業教育振興会賞は、都立田無工科高校生徒の「ボックスベンチ BB(ビービー)~MUGG PARK」の発表でした。

企業所有の運動場を一般開放することに合わせたプロジェクトの一環として、地域と企業と連携を図りながら公園内のベンチ製作を行った実践発表です。都産振HP(月末更新時にアップ)にて紹介します。

また、都立田無工科高校HPには、都市工学科の「企業連携施工工事実習」や「歩く建築同好会」の活動報告などの情報が発信されています。併せてご覧ください

[都産振のHPはこちらから](#)

[都立田無工科高校のHPはこちらから](#)

【5】「#だから都立高」の卒業生インタビューを紹介します ――――☆

「#だから都立校」は東京都教育委員会による都立高校のPRサイトで、昨年7月に開設されています。多様な都立高校の中から、自分が輝ける、成長できる都立高校を見つけてほしいというコンセプトのもと、都立高校の魅力を発信しています。都立高校を限定した情報発信となりますが、この会報電子版と目指す方向は一致していると思います。

今回、紹介するのは「卒業生インタビュー」というコンテンツです。都立高校卒業生6名のインタビュー、どれもお勧めです。

[「#だから都立高」の卒業生インタビューはこちらから](#)

【6】高校生が作った「門松」が届けられました —————☆

12月27日、都立農芸高校の生徒が作った「門松」が都立学校教育部に届けられました。今年は本会の常任理事である長谷克己ものづくり教育推進担当課長が都立学校教育部を代表して、生徒から直接「門松」を受取りました。その贈呈の様子を都産振HP(月末更新時にアップ)にて紹介します。

学校HPでは、12月20日の「農芸生の日常」で「日本学校農業クラブ全国大会令和5年度熊本大会」において優秀賞を受賞したと伝えています。併せてご覧ください。

[都産振HPはこちらから](#)

[都立農芸高校HPはこちらから](#)

【7】都産振情報 —————☆

- ①12月8日(金) 「東京都建設系高校生作品コンペティション2023」
事務局参加
- ②12月22日(金) 第3回葛飾区産業教育懇談会に向け打合せ
事務局参加
令和6年5月10日(金)15時～19時と決定
- ③1月12日(木) 企画推進委員会(第3回)を開催
- ④1月12日(金) 区市町村教育委員会宛に「優良卒業生選奨の賞状用紙」を発送
- ⑤1月23日(火) 都立五日市高等学校 探究活動成果発表会
事務局参加
- ⑥1月29日(月)
30日(火) 都庁にて「優良卒業生選奨賞状用紙」を交付

③については、都産振HPで画像を紹介します。

【8】情報の募集について —————☆

教育活動が分かる情報や、生徒・学生の研究発表作品を求めています。
課題研究発表の作品等、学校のHPで紹介することのできなかった作品等がございましたら、都産振HPで紹介いたしますので、事務局までご連絡ください。

【お願い】

この「東京の産業と教育(電子版)」は全文が著作権で保護されていますが、東京都産業教育振興会の会員校や会員企業の内部では情報共有してくださるようお願いいたします。

東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課内
東京都産業教育振興会 事務局 (担当: 並木)
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1
TEL 03-5320-6729 都庁内線 53-247
E-mail: Osamu_Namiki@member.metro.tokyo.jp
